

くまさんだより

豊橋東田教会

〒440-0055 愛知県豊橋市前畑町 112 ☎0532-54-3435

ホームページ <https://azumada.org/> 武井恵一牧師 080-3428-3200

2018年

12月号

12月22日発行

イラストは全て池谷陽子さんご提供

12月23日 クリスマス主日礼拝説教

「クリスマス 主イエスの誕生」武井 恵一牧師
テモテへの手紙一 3章16節 新約聖書386～387頁
ルカによる福音書 2章8～14節 新約聖書103頁

❖ メリークリスマス！ クリスマスおめでとうございます

今日は、クリスマスのお話をします。ヨハネによる福音書の連続説教は一時お休みです。でも、クリスマスと言っても様々なクリスマスがあります。

❖ ベツレヘムでお生まれになったイエス様のご誕生をお祝いするクリスマスが中心ですが、ベツレヘムのクリスマスは、天の父なる神様がたった一人の神様の愛する御子イエス様を、人間の世界に遣わされ、「約束された愛の大計画を実行しなさい」という、その、はじまりのクリスマスでもあります。

❖ また、キリスト教会に来たことのない方や、お友達に誘われて「クリスマスって、どんなことがたいせつなの？」と、知りたくてはじめて教会に来られた方のクリスマスもあります。

クリスマスで一番読まれる聖書の箇所はルカによる福音書の次の箇所です。

ルカによる福音書2章1～21節

(新約聖書102～103頁)

¹そのころ、皇帝アウグストゥスから全領土の住民に、登録をせよとの勅令が出た。²これは、キリニウスがシリア州の総督であったときに行われた最初の住民登録である。³人々は皆、登録するためにおのおの自分の町へ旅立った。⁴ヨセフもダビデの家に属し、その血筋であったので、



ガリラヤの町ナザレから、ユダヤのベツレヘムというダビデの町へ上って行った。⁵身ごもっていた、いいなずけの MARIA と一緒に登録するためである。⁶ところが、彼らがベツレヘムにいるうちに、MARIA は月が満ちて、⁷初めての子を産み、布にくるんで飼い葉桶に寝かせた。宿屋には彼らの泊まる場所がなかったからである。

⁸その地方で羊飼いたちが野宿をしながら、夜通し羊の群れの番をしていた。⁹すると、主の天使が近づき、主の栄光が周りを照らしたので、彼らは非常に恐れた。¹⁰天使は言った。「恐れるな。わたしは、民全体に与えられる大きな喜びを告げる。¹¹今日ダビデの町で、あなたがたのために救い主がお生まれになった。この方こそ主メシアである。¹²あなたがたは、布にくるまって飼い葉桶の中に寝ている乳飲み子を見つけるであろう。これがあなたがたへのしるしである。」¹³すると、突然、この天使に天の大軍が加わり、神を賛美して言った。

¹⁴「いと高きところには栄光、神にあれ、地には平和、御心に適う人にあれ。」

¹⁵天使たちが離れて天に去ったとき、羊飼いたちは、「さあ、ベツレヘムへ行こう。主が知らせてくださいましたその出来事を見ようではないか」と話し合った。¹⁶そして急いで行って、MARIA とヨセフ、また飼い葉桶に寝かせてある乳飲み子を探し当てた。¹⁷その光景を見て、羊飼いたちは、

この幼子について天使が話してくれたことを人々に知らせた。¹⁸聞いた者は皆、羊飼いたちの話をも不思議に思った。¹⁹しかし、マリアはこれらの出来事をすべて心に納めて、思い巡らしていた。²⁰羊飼いたちは、見聞きしたことがすべて天使の話したとおりにだったので、神をあがめ、賛美しながら帰って行った。

²¹八日たって割礼の日を迎えたとき、幼子はイエスと名付けられた。これは、胎内に宿る前に天使から示された名である。

二番目はマタイによる福音書の次の箇所です。
マタイによる福音書1章18～2章12節

(新約聖書1～2頁)

¹⁸イエス・キリストの誕生の次第は次のようであった。母マリアはヨセフと婚約していたが、二人が一緒になる前に、聖霊によって身ごもっていることが明らかになった。¹⁹夫ヨセフは正しい人であったので、マリアのことを表ざたにするのを望まず、ひそかに縁を切ろうと決心した。²⁰このように考えていると、主の天使が夢に現れて言った。「ダビデの子ヨセフ、恐れず妻マリアを迎え入れなさい。マリアの胎の子は聖霊によって宿ったのである。²¹マリアは男の子を産む。その子をイエスと名付けなさい。この子は自分の民を罪から救うからである。」

²²このすべてのことが起こったのは、主が預言者を通して言われていたことが実現するためであった。

²³「見よ、おとめが身ごもって男の子を産む。

その名はインマヌエルと呼ばれる。」

この名は、「神は我々と共におられる」という意味である。²⁴ヨセフは眠りから覚めると、主の天使が命じたとおりに、妻を迎え入れ、²⁵男の子が生まれるまでマリアと関係することはなかった。そして、その子をイエスと名付けた。

2章 ¹イエスは、ヘロデ王の時代にユダヤのベツレヘムでお生まれになった。そのとき、占星術の学者たちが東の方からエルサレムに来て、²言った。「ユダヤ人の王としてお生まれになった方は、どこにおられますか。わたしたちは東

方でその方の星を見たので、拝みに来たのです。」³これを聞いて、ヘロデ王は不安を抱いた。エルサレムの人々も皆、同様であった。⁴王は民の祭司長たちや律法学者たちを皆集めて、メシアはどこに生まれることになっているのかと問いただした。⁵彼らは言った。「ユダヤのベツレヘムです。預言者がこう書いています。

⁶『ユダの地、ベツレヘムよ、お前はユダの指導者たちの中で決していちばん小さいものではない。お前から指導者が現れ、わたしの民イスラエルの牧者となるからである。』」

⁷そこで、ヘロデは占星術の学者たちをひそかに呼び寄せ、星の現れた時期を確かめた。⁸そして、「行って、その子のことを詳しく調べ、見つかったら知らせてくれ。わたしも行って拝もう」と言ってベツレヘムへ送り出した。⁹彼らが王の言葉を聞いて出かけると、東方で見た星が先立って進み、ついに幼子のいる場所の上に止まった。¹⁰学者たちはその星を見て喜びにあふれた。¹¹家に入ってみると、幼子は母マリアと共におられた。彼らはひれ伏して幼子を拝み、宝の箱を開けて、黄金、乳香、没薬を贈り物として献げた。

¹²ところが、「ヘロデのところへ帰るな」と夢でお告げがあったので、別の道を通って自分たちの国へ帰って行った。

三番目がヨハネによる福音書1章14～18節でしょう。

ヨハネによる福音書1章14～18節

(新約聖書163頁)

¹⁴言は肉となって、わたしたちの間に宿られた。わたしたちはその栄光を見た。それは父の独り子としての栄光であって、恵みと真理とに満ちていた。¹⁵ヨハネは、この方について証しをし、声を張り上げて言った。「『わたしの後から来られる方は、わたしより優れている。わたしよりも先におられたからである』とわたしが言ったのは、この方のことである。」¹⁶わたしたちは皆、この方の満ちあふれる豊かさの中から、恵みの

上に、更に恵みを受けた。¹⁷律法はモーセを通して与えられたが、恵みと真理はイエス・キリストを通して現れたからである。¹⁸いまだかつて、神を見た者はいない。父のふところにいる独り子である神、この方が神を示されたのである。

✦三つも聖書箇所を上げれば、もう良いか？
「良くはありません。肝心なところがまだ出ていません。」という声が聞こえます。

……え？ 皆さんには聞こえませんか。でも、聞こえたことにいたします。なにしろ肝心カナメの聖書箇所ですから。でも、たしかに四番目は難しい！ いくつかの取り上げたい聖書箇所があります。

一つは旧約聖書の「イザヤ書」。

けれど、「イザヤ書」は一か所だけって言えません。少なくとも二か所はあげなければ片手落ちです。

一つ目はイザヤ書7章14節です。

イザヤ書7章14節(旧約聖書1071頁)

¹⁴それゆえ、わたしの主が御自ら

あなたたちにしるしを与えられる。

見よ、おとめが身ごもって、男の子を産み

その名をインマヌエルと呼ぶ。

[インマヌエル=神は我々と共におられる]

✦もう一か所は、9章1節と、少し飛んで5節です。
いいえ、もとい！

この聖書箇所は、マタイによる福音書4章15節(新約聖書5頁下の段二行目から)に引用されていますから、トボケるわけにはいきません。

イザヤ書8章23節(最後の)4行から。

中途半端なところからです。旧約聖書1073頁、下の段終わりから5行目から。

イザヤ書8章23節後半～9章1節

(旧約聖書1073～1074頁)

^{23後半}ゼブルンの地、ナフタリの地は辱めを受けたが後には、海沿いの道、ヨルダン川のかなた異邦人のガリラヤは、栄光を受ける。

9章 闇の中を歩む民は、大いなる光を見
死の陰の地に住む者の上に、光が輝いた。

ここから5節へ飛びます。

イザヤ書9章5節(旧約聖書1074頁)

⁵ひとりのみどりごがわたしたちのために生まれました。ひとりの男の子がわたしたちに与えられた。権威が彼の肩にある。

その名は、「驚くべき指導者、力ある神
永遠の父、平和の君」と唱えられる。

✦もう一か所は「テモテへの手紙一3章16節」です。テモテへの手紙一3章16節は、新約聖書386頁下の段にあります。ついでにご紹介しますと、今日のこの説教は、話している原稿がそのまま「くまさんだより12月号」に載ります。そこで、分からない？ と思われたら武井牧師に「ココは分からない！」、「分かるようにして！」とお求めください。必ずお応えします。

それはさておき、今はテモテへの手紙一を朗読します。黙読される方は、386頁下の段、小見出し「信心の秘められた真理」から5行先です。

テモテへの手紙一3章16節(新約聖書386頁)

¹⁶信心の秘められた真理は確かに偉大です。
すなわち、

キリストは肉において現れ、

“霊”において義とされ、

天使たちに見られ、

異邦人の間で宣べ伝えられ、

世界中で信じられ、

栄光のうちに上げられた。

✦この言葉は、キリストの誕生を「信心——心から信じる」「信心の偉大な真理」について 父なる神から遣わされ「まったき人間」としてクリスマスに誕生されたイエス・キリストを「総合的な、全体」を表す言い方で語っています。はっきり言えば、いや申し上げれば、この言葉は「羊飼達」「天使、天使の大群」の華々しい、嬉しくなるクリスマスのエピソードに比べると、堅苦しい、分かりにくい言い方といえるでしょう。そのとおり！

✦けれども、しかし、この言葉は、疑いもなく「主イエスキリストが天の父から派遣され、その使命を成し遂げる真実」を言い表しています。単純な「うれしい」「輝く喜び」をはるかに超え

た「真実、真理」がこのテモテの言葉にあります。「羊飼達」「天使、天使の大群」などの記事と、この引照との違いを明らかにするために、ここで、クリスマスで毎年読まれており、クリスマスのお祝いの象徴ともいえるルカによる福音書の言葉を読んでみましょう。

2章8節から読みます。103頁上の段です。

ルカによる福音書2章8～19節(新約聖書103頁)

⁸その地方で羊飼いたちが野宿をしながら、夜通し羊の群れの番をしていた。⁹すると、主の天使が近づき、主の栄光が周りを照らしたので、彼らは非常に恐れた。¹⁰天使は言った。「恐れるな。わたしは、民全体に与えられる大きな喜びを告げる。¹¹今日ダビデの町で、あなたがたのために救い主がお生まれになった。この方こそ主メシアである。¹²あなたがたは、布にくるまって飼葉桶の中に寝ている乳飲み子を見つけるであろう。これがあなたがたへのしるしである。」¹³すると、突然、この天使に天の大軍が加わり、神を賛美して言った。¹⁴「いと高きところには栄光、神にあれ、地には平和、御心に適う人にあれ。」¹⁵天使たちが離れて天に去ったとき、羊飼いたちは、「さあ、ベツレヘムへ行こう。主が知らせてくださったその出来事を見ようではないか」と話し合った。¹⁶そして急いで行って、マリアとヨセフ、また飼葉桶に寝かせてある乳飲み子を探し当てた。¹⁷その光景を見て、羊飼いたちは、この幼子について天使が話してくれたことを人々に知らせた。¹⁸聞いた者は皆、羊飼いたちの話をも不思議に思った。¹⁹しかし、マリアはこれらの出来事をすべて心に納めて、思い巡らしていた。

ともあれ、やはり、クリスマスの嬉しい言葉です。わたしたちはここで、ヨハネによる福音書19章26節、主イエスが死の苦しみを圧して母マリアを十二使徒ヨハネに託する出来事と、今話した十字架の主イエスの方を思い起こさなければなりません。

ヨハネによる福音書19章26～27節

(新約聖書207頁)

²⁶イエスは、母とそのそばにいる愛する弟子を見て、母に、「婦人よ、御覧なさい。あなたの子です」と言われた。²⁷それから弟子に言われた。「見なさい。あなたの母です。」そのときから、この弟子はイエスの母を自分の家に引き取った。

このようにして母マリアは、この後、十二使徒ヨハネ一家と生活を共にします。それは、ルカによる福音書2章18～19節に記されている次の聖書記事につながっています。

ルカによる福音書2章18～19節

(新約聖書103頁)

¹⁸聞いた者は皆、羊飼いたちの話をも不思議に思った。¹⁹しかし、マリアはこれらの出来事をすべて心に納めて、思い巡らしていた。

✦以前にもお話したかもしれませんが。このマリア自身の思いは、ヨハネによる福音書だけにとどまらず、共観福音書の重要な記事につながっています。

母マリアが使徒ヨハネに託されたのは十字架の主イエスからです。そして、共観福音書を含む新約聖書が発刊されたのは起源70年前後とされていますが、母マリアがその目で見、その耳で聞いた主イエスの言葉、「ルカ福音書記事を含む具体的なマリアの証言」はかけがえなく貴重なものです。

母マリアの証言は真実であり、聖霊の助けも加えられています。

✦ここで、もう一か所「クリスマスの聖書の言葉」を朗読します。

ヨハネの手紙一1章1～2節(新約聖書441頁)

¹初めからあったものわたしたちが聞いたもの目で見えたものよく見て手で触れたものを伝えます。すなわち命の言について。――²この命は現れました。御父と共にあったがわたしたちに現れたこの永遠の命をわたしたちは見てあなたがたに証しし伝えるのです。――

残念ですが時間がないのでここから先は聖書箇所が飛び飛びになります。後で、改めて「ヨハネの手紙一」を読んでください。飛び飛びですが、章・節の番号を添えます。これはクリスマス・メッセージの中心です。

ヨハネの手紙一3章11節(新約聖書444頁)

¹¹なぜなら、互いに愛し合うこと、これがあなたがたの初めから聞いている教えだからです。

ヨハネの手紙一3章14節(新約聖書444頁)

¹⁴わたしたちは、自分が死から命へと移ったことを知っています。兄弟を愛しているからです。愛することのない者は、死にとどまったままです。

これらの、ヨハネの手紙一、そしてヨハネの手紙二、で聖書がわたしたちに告げているのは、そのままクリスマスのメッセージとすることが出来ます。

ヨハネの手紙一3章16～18節(新約聖書444頁)

¹⁶イエスは、わたしたちのために、命を捨ててくださいました。そのことによって、わたしたちは愛を知りました。だから、わたしたちも兄弟のために命を捨てるべきです。¹⁷世の富を持ちながら、兄弟が必要な物に事欠くのを見て同情しない者があれば、どうして神の愛がそのような者の内にとどまるでしょう。¹⁸子たちよ、言葉や口先だけではなく、行いをもって誠実に愛し合おう。

ここから4章7節にまた飛びます。

◆神は愛

ヨハネの手紙一4章7～10節(新約聖書444頁)

⁷愛する者たち、互いに愛し合いましょ。愛は神から出るもので、愛する者は皆、神から生まれ、神を知っているからです。⁸愛することのない者は神を知りません。神は愛だからです。⁹神は、独り子を世にお遣わしになりました。その方によって、わたしたちが生きるようになるためです。ここに、神の愛がわたしたちの内に示されました。¹⁰わたしたちが神を愛したのではなく、神がわたしたちを愛して、わたしたちの罪を償ういけにえとして、御子をお遣わしにな

りました。ここに愛があります。

わたしたちは「愛」を意識して行うことが下手です。けれど、そのトレーニングは誰にでもできます。わたしたちは会う人たちに「愛しています」とはなかなか言えません。(もちろん言える方々もいます)

でも、無理に「愛」と言う言葉を言わなくても良い、と最近知りました。「ありがとう」「ごめんなさい」「感謝します」「嬉しいです」「謝ります」「大切にします」「どうぞ、お元気で」「あなたは、ここで大切な働きをされています」。

このような言葉をかけ、やがて、お互いに掛け合う関係になるとき、そこに「愛」が生まれ、「愛が当たり前になる」と覚えました。そこから、真実の愛は近いと知ります。

「愛」は、それ自身「いのち」を持っています。そして「言葉」も、「いのち」を持っています。

キリスト教は難しい、と言われる。「信仰があっても、おさそいできない」と実感します。でも、「愛する言葉をかけること」から日常的にトレーニングすれば、やがてできます。

祈り 讃美歌(21) 256「まぶねのかたえに」



新共同訳聖書

〔ルカによる福音書2章8～20節〕

⁸その地方で羊飼いたちが野宿をしながら、夜通し羊の群れの番をしていた。⁹すると、主の天使が近づき、主の栄光が周りを照らしたので、彼らは非常に恐れた。¹⁰天使は言った。「恐れるな。わたしは、民全体に与えられる大きな喜びを告げる。¹¹今日ダビデの町で、あなたがたのために救い主がお生まれになった。この方こそ主メシアである。¹²あなたがたは、布にくるまって飼葉桶の中に寝ている乳飲み子を見つけるであろう。これがあなたがたへのしるしである。」¹³すると、突然、この天使に天の大軍が加わり、神を賛美して言った。¹⁴「いと高きところには栄光、神にあれ、地には平和、御心に適う人にあれ。」¹⁵天使たちが離れて天に去ったとき、羊飼いたちは、「さあ、ベツレヘムへ行こう。主が知らせてくださったその出来事を見ようではないか」と話し合った。¹⁶そして急いで行って、マリアとヨセフ、また飼葉桶に寝かせてある乳飲み子を探し当てた。¹⁷その光景を見て、羊飼いたちは、この幼子について天使が話してくれたことを人々に知らせた。¹⁸聞いた者は皆、羊飼いたちの話をも不思議に思った。¹⁹しかし、マリアはこれらの出来事をすべて心に納めて、思い巡らしていた。²⁰羊飼いたちは、見聞きしたことがすべて天使の話したとおりにだったので、神をあがめ、賛美しながら帰って行った。

教文館 日本語対訳ギリシア語聖書

〔ルカによる福音書2章8～20節〕

⁸そして、羊飼いらがこの地方に野宿し、そして彼らの群れの夜の見張りをしていた。⁹すると、主の使いが彼らの側に立った。そして、主の栄光が彼らをめぐり照らした。それで、非常な(恐れで)彼らは恐れた。¹⁰そして、その使いは彼らに言った。あなたがたは恐れるな、見よ、あなたがたにこの民すべてに起こるところの大きな喜びを私は伝えるから。¹¹すなわち、きょう、ダビデの町に救い主が生まれた。彼は主であるキリストである。¹²そして、これがあなた方に対するしるし(である)。うぶぎで包まれ、そして、飼葉おけに寝ている嬰兒をあなた方は見る。¹³すると、たちまち天の軍勢の大軍が使いと共に現れた。神を讚美しつつそして、言うのには、¹⁴「いと高きところで神に栄光、そして、地の上に喜ばれる(神に選ばれた)人々に平和。」¹⁵そして、使いらが彼らから天に去ったとき、(次の事が)起こった。羊飼いらは互いに言った。「さあ、ベツレヘムへ私たちは行こう。そして、主が私たちに知らせたところの、起こったこのことを見よう。¹⁶そして、急いで彼らに行き、そして、マリアとヨセフと飼葉おけに寝ている嬰兒を見出した。¹⁷そして、(それを)見て、この幼児について彼らに語られた言葉について、彼らは広く知らせた。¹⁸そして、聞いた人々はみな、羊飼いらによって彼らに語られた事(複)について、不思議に思った。¹⁹しかし、マリアはすべて、これらの言葉(複)を心に留めていた。(そして)彼女の心のうちに思いめぐらしていた。²⁰そして、羊飼いらは、彼らに対して語られたように、彼らが聞いた、そして見たところのすべての事のゆえに、神をほめたたえながら、そして、讚美しながら帰った。